

2018 年 7 月 2 日

日本教育制度学会会長 清水 一彦
第 26 回大会準備委員会委員長 山下 晃一

日本教育制度学会第 26 回大会のご案内

日本教育制度学会会員 各位

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る11月10日（土）、11日（日）の両日、日本教育制度学会第26回大会を神戸大学にて開催することになりました。つきましては、以下の通り大会日程をご案内いたします。

自由研究発表は1日目（10日）の午後、課題別セッションは2日目（11日）の午前に設定されております。会員の皆様におかれましては、日頃の研究成果を持ち寄って頂き、教育制度研究の交流と活性化を図る機会として頂きたく存じます。また、公開シンポジウムでは『『青年期教育制度論』の創造と展開—『学ぶ・働く・生きる』をめぐるケア・支援の制度化は可能か—』というテーマのもと、若い世代を支援・ケアする実践的・理論的動向をご紹介いただき、これからの教育制度のあり方について会員の皆様とともに探究する機会にしたいと考えております。

会員の皆様のご協力により充実した大会になりますよう、大会準備委員会一同、心より願っております。どうぞ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

敬具

記

I. 大会日程

<u>第1日 11月10日（土）</u>	<u>第2日 11月11日（日）</u>
11：00～12：00 紀要編集委員会	9：00～ 受付
12：00～ 受付	9：30～12：00 課題別セッション
12：10～13：10 理事会	12：00～13：00 昼食（お弁当は予約制）
13：30～16：30 自由研究発表	公開シンポ打ち合わせ
16：40～17：10 総会	13：00～16：00 公開シンポジウム
17：30～19：30 懇親会（学内会場を予定）	

II. 大会会場

神戸大学 人間発達環境学研究科 鶴甲第2キャンパス（B棟）
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学人間発達環境学研究科

III. 参加費

大会参加費 正会員／臨時会員 3,000 円 懇親会費 正会員／臨時会員 4,000 円

※公開シンポジウムのための参加は無料です。

IV. 発表等の申込について

(1) 自由研究発表

自由研究発表を募集します。発表は本学会員に限定します。ふるってご応募ください。

①発表時間：個人研究・共同研究ともに40分（発表20分、質疑応答15分、指定討論5分）。

②申込方法：以下のいずれかの方法でお申し込みください。

【郵 送】別添の「自由研究発表申込用紙」（学会ホームページからもダウンロード可）に必要な事項をご記入の上、大会準備委員会宛にお送りください。

【メール】「自由研究発表申込用紙」の各事項をご記入の上、添付ファイルでお送りください。
メールの件名は「自由研究発表申込（氏名・所属）」をお願いします。

（宛先：jseeso2018@gmail.com）

③指定討論者：発表者は、指定討論者の内諾を得てお申し込みください。指定討論者を決めかねる場合は、学会事務局が依頼します。申込用紙にその旨を書き添えてください。

④申込締切：**8月20日（月）必着**

⑤発表申込留意事項：

- ・発表者は、事前に指定討論者の方と連絡をとり、発表用資料（レジュメ等）に目を通していただくよう段取りをお願いします。
- ・万一、やむを得ない理由により発表を取りやめる場合は、速やかに大会準備委員会までご連絡ください。なお、発表取りやめになった場合も、次の発表を繰り上げることはいたしません。

(2) 課題別セッション

本学会は、会員の研究活動の発展に寄与するために、教育制度に関する最先端の研究課題について討議する課題別セッションを設けています。共同研究の企画を積極的に申し込みください。

①申込方法：別添の「課題別セッション申込用紙」（学会ホームページからもダウンロード可）に必要な事項をご記入の上、Eメールまたは郵便で大会準備委員会にお申し込みください。
Eメールの件名は「課題別セッション申込（氏名・所属）」をお願いします。
その他、詳細は自由研究発表と同様です。

②申込締切：**8月20日（月）必着**

(3) 共通事項

①発表用資料について：

- ・30部程度ご用意ください（会場でのコピーはできません）。当日ご持参いただき、各会場の係にお渡しください。大会事務局への事前郵送は受け付けておりません。ご了承ください。

②PowerPointをご利用になる方へ：

- ・申込時に必ずお知らせください。申込時以降にお知らせ頂いても、対応できかねます。
- ・PowerPointのデータファイルのみ「USBメモリ」に入れてご持参ください。発表会場によってはPowerPointの最新版の機能に対応していない可能性もあります。あらかじめご了承ください。
- ・PCを持参される方は、VGAケーブル（15ピン）での接続となりますので、ご注意ください。

V. 公開シンポジウム

日時：2018年11月11日（日）13:00～16:00

場所：神戸大学鶴甲第2キャンパス B棟

テーマ： 「青年期教育制度論」の創造と展開
—「学ぶ・働く・生きる」をめぐるケア・支援の制度化は可能か—

シンポジスト：

- ・田中容子 氏（京都大学） 「学ぶ」：教育方法学・教育実践論の観点から —学びとケア—
- ・藤田晃之会員（筑波大学） 「働く」：キャリア教育・高校教育研究の観点から —若者と労働—
- ・高橋寛人会員（横浜市立大学）「生きる」：居場所カフェ・研究と地域の観点から —学校と社会—

コーディネーター：

- ・服部憲児会員（京都大学）、山下晃一会員（神戸大学）

若い世代が自己肯定感の低さや対人関係の困難、物事への消極性などの傾向を批判されて久しい。だが、未熟さや不安定さを抱えざるを得ない青年期に対して、最大限可能な、あるいは必要十分な支援やケアを、先行世代の側こそが準備できていないのではないか。

例えば、現在の教育改革は、産業構造や労働環境の激変に対応すべく社会の維持発展の観点から進められ、若い世代に対して、いわばそれらへの過剰適応を強要するものとなりかねない。

また、80年代以降、学校教育の自明性の問い直しや学びからの逃避が深刻化するなかで、「学ぶ意味」を回復する努力も展開されてきた。だが、昨今の基礎学力重視の風潮や、大学進学率の高まりによって、むしろ旧来型の学習スタイルが復興した感もある。

加えて上記の労働や学びの風潮に乗り切れず、家庭や学校に居場所を見いだしにくい若者もいる。周囲の人々や事物・出来事との関係を結びなおしつつ、自分のペースで発達課題に向き合うための“試行錯誤と発達が許される時空間”が、若い世代すべてに保障されているとはいえない。

以上をあらためて教育制度研究として引き取ったとき、いわば「青年期教育制度論」とも呼ぶべき視点から構想していくのも一考と思われる。というのも、上記のような諸課題は、中等教育制度と高等教育制度の架橋・接続によってこそ対応されるべきであること、既存の学校制度に“適応”する者以外にも視野を広げざるを得ないこと、公私のセクター区分を越えた諸組織との、さらには就労支援や福祉など他領域との連携が必要になること、などの理由から、包括的・総合的に青年期への支援・ケアを構築する必要があるように思われるからである。

今回のシンポジウムでは、こうした視点の妥当性検証も含めて、まずは構想の端緒として、これまで各地で実践や研究に取り組んでこられたパネラー3名をお招きして、それぞれの取り組みのご報告をいただく。その際の重要なキーワードとして「学ぶ・働く・生きる」の3語を抽出した。これは、青年期教育制度を構成する基本契機の候補とも言える。

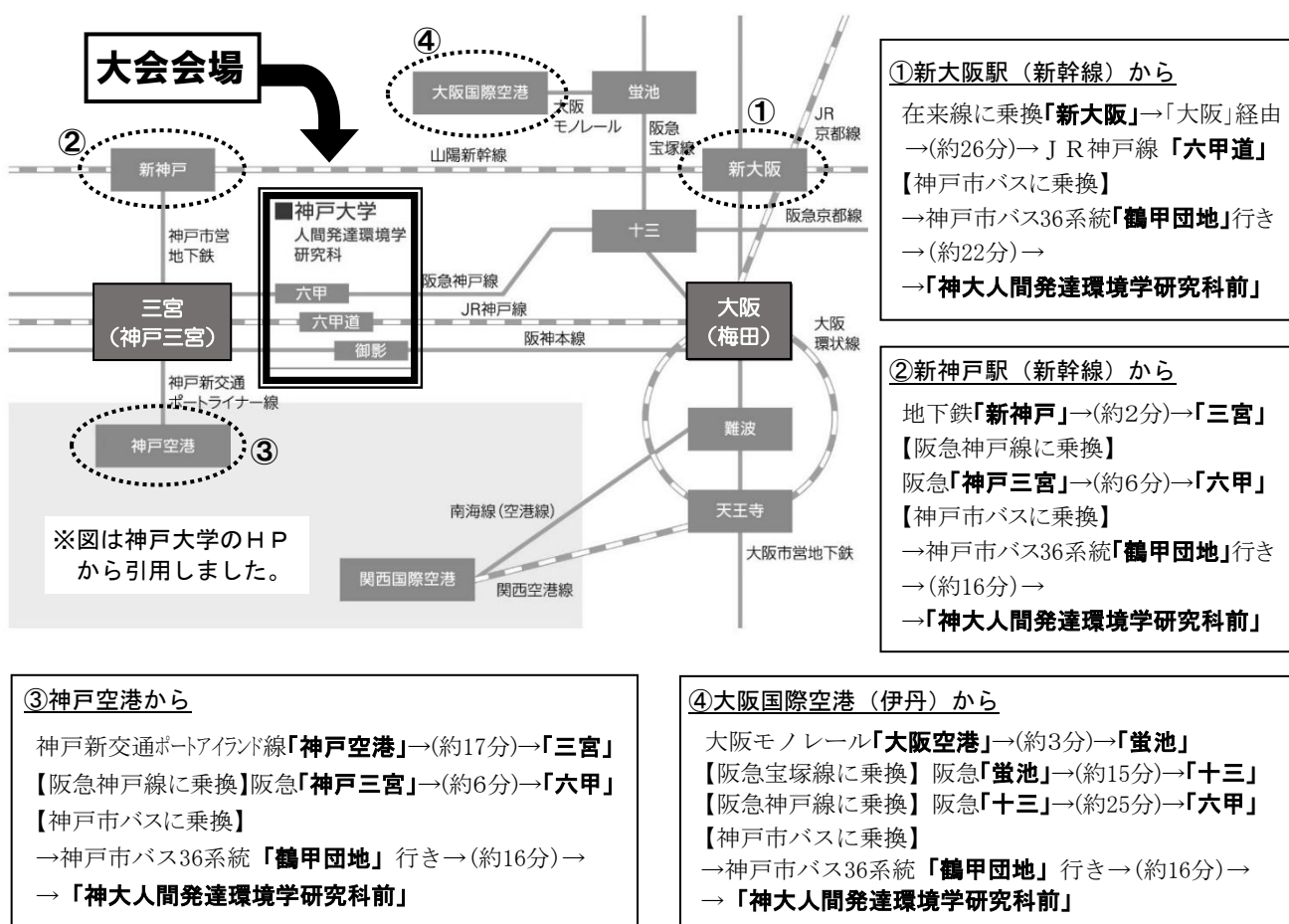
その後、フロアも交えて、今の若い世代が尊厳とゆるやかなつながりを保障された上で、孤立ではなく“適切な依存としての自立”を可能にする居場所を基盤に、安心感をもって学び・発達して、不安をもちながらも自分なりに労働や社会に参入できる、そのような支援・ケア・制度のあり方について自由闊達に議論できればと願う。

VI. 大会・懇親会への参加申込

大会・懇親会への参加については、後日、大会プログラム送付の際に同封する申込ハガキにてお申し込みください。その際に、2日目のお弁当の希望も確認します。懇親会では、神戸のお料理や地酒などを準備する予定です。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

VII. 会場までのアクセス、ならびに宿泊と交通手段

大会参加のための交通機関及び宿泊につきましては、会員各自でご手配ください。宿泊につきましては、三宮駅周辺など神戸市内のホテルが会場までのアクセスに便利です。行楽シーズンとも重なりますので、お早めにホテルをご予約ください。



※詳しいアクセス方法については大学 HP (<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/access>) をご覧ください。

VIII. 申込及び問合せ先

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11 神戸大学人間発達環境学研究科 山下晃一研究室気付

日本教育制度学会第26回大会準備委員会

事務局メールアドレス : jseso2018@gmail.com

事務局TEL & FAX : 078-803-7723 (山下晃一)

※お問い合わせはできる限りEメールにてお願いいたします。